

やっぱり無責任な対応でした！

「新幹線車内販売員の減員に関する申し入れ」の 業務委員会開催拒否！

1月20日、分会から上申していた内容の「申第27号（車内販売担当者減員）に関する申し入れ」について組合側と会社側による事前審理が開催されました。

この申し入れは、新幹線車内の車内販売員が減員になることが職場で知らせていましたが、これまでも実際の車内で発生する問題や会社としての利用旅客に対する責任などを明らかにするよう求めた内容です。しかし、会社は「付議事項にあたらぬ」として業務委員会の開催を拒否しました。

会社側幹事によると、車内販売員を減員することになった理由については、「他社の事ではあるが、減員ではないと聞いている」。「現行運用されている2人の車内販売員体制の列車が増えるといった考え方・イメージである」とまったく減員については曖昧な認識であることがはっきりしました。

また、旅客から苦情等が予想される苦情については「JR東海として特にやれることはない」と開き直りともいえる姿勢でありました。

実際の車内で苦情等が発生した場合、車掌の対応と責任については、「特段の指示等はない。ご意見・問題等があれば当直に報告するようになっている。責任は会社にはない。」と車内販売員と車掌、車内販売員と旅客との間で発生する問題についても会社の責任放棄・現場への責任転嫁の姿勢でその場を乗り切ろうという考えが見え見えの回答でした。

また最近、多くの車内販売員が早期に辞めていく現状について、必要要員数と現状の社員数などに迫った問題についても「他社のこと。わからない」と終始しました。

異常時における旅客への給食・飲料問題の課題も山積みです！

車内販売員が減員となり車内販売機もなくなります。通常のサービス低下にもなりますし、異常時にも給食・飲料関係も欠かせない問題です。今年の年始にも長時間運転を見合わせたり、車内で缶詰になった事象もありました。

私たちは、新幹線を運行する会社に対して、「他社のこと」と切り捨てる姿勢におかしいことはおかしいと言いつづけます。